

2026 年度 市民活動センター運営協議会（第 1 回） 議事録

■日 時：2026 年 6 月 10 日（水）19:00～21:00

■会 場：プラッツ 6 階 第 2 会議室

■参加者：

委員：赤坂 光（府中市観光ボランティアの会）

朝岡 幸彦（白梅学園大学 特任教授）

後藤 大地（古今樂明座）

松木 紀美子（府中市自治会連合会事務局長）

風間 典子（府中市協働共創推進課 主任）

橋本 薫（府中市市民活動センター プラッツ施設管理課長）

林 丈雄（府中市市民活動センター プラッツ館長）

事務局：兒嶋、高橋、道具

オブザーバー：田口（府中市市民活動センタープラッツ）

連絡欠席：上田 太郎（明治安田生命 武蔵野支社 府中中央営業所営業所長）

（敬称略）

■次第

1. 開 会

2. 委員・事務局自己紹介

委員および事務局が自己紹介を行った。各委員から所属や活動内容、市民活動との関わりなどの紹介がされた。

3. 運営協議会の趣旨説明

事務局より、運営協議会の設置目的、委員構成、任期、役割等について説明を行った。

4. 委員長選出

事務局一任との声があり、事務局から朝岡先生を推薦し委員長に承認された。

委員長より赤坂副委員長が指名された。

5. 議 事 （ 進行：朝岡委員長 ）

①プラッツ事業概要及び成果と課題について

目的や内容、ゴールなど、企画書（案）をもとに事務局から説明を行った。

②運営協議会のテーマについて協議

「プラッツの事業の成果と課題」を参考にしつつ、各委員から、プラッツの運営向上について意見交換を行った。

主な意見は下記の通り。

- ・人が集まり交流できる場が少ない、その視点で協働まつりや団体交流会の回数を増やしてはどうか。
 - ・市民協働を推進する在り方として、会議室の稼働率についての議論はいい切り口ではないか。
 - ・会議室の稼働率が高いが、夜間利用が減っているため、アイデアがあるといい。
 - ・他の会議室と比べると、料理室の利用率が低い、ルミエールや中央文化センターも低い。料理の団体と若者の協働イベントを行うのはどうか。
 - ・チラシ配架については、デジタル化進んでいる中、中高生、子育て世代、シニア層などターゲットによって効果が異なる。チラシが有効なのはデジタルでつながらない層。デジタル有効ではない事業の場合、配架の問題は重要となってくる。
 - ・プラッツに SNS 専門の広報担当者がほしい。
 - ・今は、AI なしでの運営は考えられない。市民活動支援の視点で AI と対面のバランスを考えていくことが必要。
 - ・助成金・補助金・様々な制度の情報をプラッツから発信してほしい。
 - ・AI 講座を実施したほうがいいのではないか。プロンプトの重要性などうまく使えるような講座を組み立てるといいのではないか。
- ・稼働率、チラシ配架（発信の市か方）、AI、料理室の活用等を話題として、1 回 1 回積み上げていくのがいいのではないか。

6. 閉 会

本日出された意見をもとに、次回以降のテーマを委員長と事務局で検討し、提案を行う予定。

【今後の日程】

- ・第 2 回運営協議会 2026 年 10 月 14 日（水）19:00～21:00
- ・第 3 回運営協議会 2027 年 2 月 10 日（木）19:00～21:00